

平成30年度 上田市立 丸子北小学校 自己評価シート

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	
仲良く助け合う子	○しっかり考え、自分から動ける子ども	
	○力を合わせて粘り強く追究する子ども	
進んで学び、自分の考えが言える子	○自分やまわりの人を大切にす子ども	
	今年度の重点目標	
	1 「伝える力」をのばす	
最後までやり抜く子	2 「自主性」をのばす	
	3 「豊かな心」をはぐくむ	

総合評価					
成果と課題				改善策・向上策	
課題解決に向けて、自分の思いや考えを伝え合う姿が多く見られるようになってきましたが、発言が特定の児童に偏ってしまう傾向があります。	A	B	C	D	「開かれた学級づくり」に努めると共に、特定の児童に発言が偏らないように、ペアやグループでの活動や個々の発表の場を確保していきます。
自主学習や自問清掃に取り組む児童が増えてきました。授業で、「振り返りの時間」を、毎時間確保することが難しいです。	○				児童の実態に合った学習課題を設定したり、ペアやグループ活動、アクティブ・ラーニング等を取り入れたりしながら、振り返りを丁寧に行い、児童の主体的に対話的な学びを実現していきます。
自分から挨拶できる子が増えてきましたが、まだ個人差が大きいです。		○			教師間の挨拶も含め、これからも教師自身が進んで気持ちのよい挨拶をするように心掛けていきます。

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	学習指導	基礎的な学力の定着	学力の向上をめざし、子どもたちが「わかった」「楽しい」を実感する授業を実施してきたか 家庭学習の習慣をつけるために、「15分×学年」を目安に、家庭と協力しながら発達段階に応じた課題の工夫をしているか
		生徒指導	より良い人間関係づくり 子どもたちが、安心して生活できるように、学級の人間関係に敏感になり児童の心に寄り添った支援をしてきたか
学校運営	地域との連携	学校からの情報発信	学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、「学校便り・学年便り・ホームページ」等で、学校の様子を伝えているか
		安全安心対策	学校は、毎日の下校指導や地域の「安全見守り隊」と連携して、事故防止や安全指導を進めているか
	研修	授業改善と児童理解	教師は、学習指導や生徒指導等で研修したことを、日常の授業に生かしているか
		職員の綱紀粛正	「非違行為防止」に努めているか
支相談	子どもや保護者への教育相談	保護者や子どもからの相談に対して、関係職員や関連機関とも連携しながら、適切な対応をしているか	

成果と課題				改善策・向上策	
学習規律の見直しや授業改善に向けて「丸北小スタイル」「北小っ子ルール」の定着を目指し、一人ひとりが力を入れて取り組んできました。	A	B	C	D	一人一公開を始め、お互いの授業を見合うなどして日頃の授業を見返したり、研修の機会を設けたりして、教員の資質向上を図っていきます。
「つむぐ」の利用と、保護者のサポートにより、自主勉強の質が向上しています。授業を受けて、その日の自主学習を決め出せる児童が増えてきました。		○			今後も、各学級・学年で児童の実態を丁寧に把握し、課題に合った内容の宿題を出したり、「つむぐの活用」について、保護者の声も聞きながら、全職員で共通意識をもち、積極的に活用したりしていきます。
お互いのよさを認め合う場や、グループ活動を大切に位置付けてきました。96%の児童が「学校が楽しい」と回答していました。	○				特に、「学校があまり楽しくない」と回答した児童に心を寄せ、一人ひとりに居場所があり、楽しい学校生活を送れるよう、丁寧に支援していきます。
「褒める」「受け止める」を大切にしながら、日頃の声掛けや学習支援を行うなど、より良い人間関係づくりができるよう心掛けています。	○				日々の児童理解を丁寧に、「北小っ子タイム」や「Q-U」等も活用しながら、子どもたち一人ひとりに寄り添った支援が行えるよう努力します。
本年度は、7月と2月の2回「コミュニティだより」を発行し、地域へ回覧することができました。学年便りや学校便り、HPも、定期的に発行・更新することができました。		○			保護者アンケートで「ホームページがまめに更新されていて、学校の様子が分かりいつも楽しみに見えています。」と評価をいただきました。今後も、子どもたちの頑張っている様子を、お便りや学校HPなどを使って積極的に発信していきたいと考えます。
保護者のA評価が、昨年度より14%上がりました。日々の安全指導や、安全に関するメール配信の向上等を評価していただいたものと考えます。	○				地域の「安全見守り隊」と連携を密にしながら、日々の安全指導や事故防止に努めていきます。また、不審者情報など、安全にかかわる内容については、今後も迅速に対応するよう努めます。
応用教育研究所の鈴木先生を講師に招き、「Q-U検査」の見方や活用の仕方について職員研修を実施し、学級経営や授業に活かすよう努めています。		○			今後も、日々の児童理解に加え、客観的結果や資料等も活用しながら児童理解を深め、学級経営や日々の授業に活かしていきます。
職員評価の達成度が、昨年度より11%向上するなど、職員全体の意識が高まりました。	○				職員評価の達成度91%を維持できるよう、引き続き気を引き締め、全職員で取り組んでいきます。
児童や保護者の話を丁寧に聴いたり、定期的に懇談や支援会議を開いたりするよう努めました。	○				今後も、子どもたちや保護者の声にしっかりと耳を傾け、誠心誠意対応していきます。

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった